

令和 2 年度 腰痛予防指導者育成研修日程表（基礎研修）

開催日時

	Aコース		Bコース		開催時間
	富山地区	新川地区	高岡地区	砺波地区	
1	7月 6日 (月)		7月 6日 (月)		9:00～17:00
2	7月 16日 (木)		7月 13日 (月)		9:00～17:00
3	7月 30日 (木)		7月 20日 (月)		9:00～17:00
4	8月 6日 (木)		7月 27日 (月)		9:00～17:00

内 容

	時間	内 容	講 師
1 回 目	9:00	オリエンテーション 研修について	富山県介護実習・普及センター 所長 佐藤 裕美子
	9:30	・研修内容・進め方 (講義・演習) 「コーチングスキルを活用したスタッフへの指導技 法について」	オフィス アヴァンセ代表 銀座コーチングスクール 認定講師 土屋 佳瑞 氏
	12:00～ 13:00	休憩 (講義) 「腰痛予防対策 一疾患・障がいの理解と介護」 対象者の状況理解し自立を促す/対象者の状況を理 解/腰痛を知る/対象者のアセスメント	金城大学医療健康学部 教授 木林 勉 氏
	16:00 17:00	研修会について ・基礎研修、フォローアップ研修	佐藤
2 回 目	9:00	(講義) 持ち上げない介護方法について	<u>Aコース</u> 地域リハビリ支援室タムラ 代表 田村 茂 氏
	10:30	(演習) 「ベッド上の移動、起き上がり、立ち上がり、座位移 乗の介助方法」 ・自然な身体の動きを体験	<u>Bコース</u> 金城大学医療健康学部 教授 木林 勉 氏
	(12:00 ～ 13:00 休憩)	・障害のある利用者の介助方法 ・代表例に基づき、シミュレーションを通し介助方法 の教え方を学ぶ(利用者のアセスメント、介助の目 的、使用する福祉用具の有用性、介助の注意点)	<指導アシスタント> <u>Aコース</u> 特別養護老人ホーム越野荘 村中 沙織 氏 富山城南温泉病院 塚田 大紀 氏
	16:45 17:00	次回の研修について	<u>Bコース</u> 特別養護老人ホーム越野荘 松下 愛 氏 特別養護老人ホームつまま園 浜出 都 氏 佐藤

3 回 目	9:00 9:30	アセスメントシートの活用について (グループワーク) ・腰痛予防指導者としての役割について 問題点、対応策について	佐藤
	11:00 12:00～ 13:00	・フォローアップ研修の進め方について 休憩 (演習) 事例を基にアセスメント、介助方法をシミュレーション ・アセスメント ・介助方法のシミュレーション ・発表	<u>Aコース</u> 地域リハビリ支援室タムラ 代表 田村 茂 氏 <u>Bコース</u> 金城大学医療健康学部 教授 木林 勉 氏 <指導アシスタント> <u>Aコース</u> 特別養護老人ホーム越野荘 村中 沙織 氏 富山城南温泉病院 塚田 大紀 氏 <u>Bコース</u> 特別養護老人ホーム越野荘 松下 愛 氏 特別養護老人ホームつまま園 浜出 都 氏
	16:30 17:00	次回の研修について	佐藤
4 回 目	9:00 9:30	(講義) ・リフトを利用する介助方法について 介護リフトの種類・適応、吊り具の種類、適応等 (演習) <u>リフトの違いを体験(リフト各種)</u>	<u>Aコース</u> 地域リハビリ支援室タムラ 代表 田村 茂 氏 <u>Bコース</u> 金城大学医療健康学部 教授 木林 勉 氏 <指導アシスタント>
	11:30 12:30～ 13:30	<u>適切なアセスメントに基づき、介助方法をシミュレーションする。(事例を基に)</u> 事例を基に発表する。 ・アセスメント ・介助方法のシミュレーション 休憩 (演習・講義) ・チューターとしての指導方法について (まとめ) 1回目～3回目までの研修振り返り	<u>Aコース</u> 特別養護老人ホーム越野荘 村中 沙織 氏 富山城南温泉病院 塚田 大紀 氏 <u>Bコース</u> 特別養護老人ホーム越野荘 松下 愛 氏 特別養護老人ホームつまま園 浜出 都 氏
	15:30 17:00	フォローアップ研修について ・研修内容・進め方等 その他 ・アンケート提出	佐藤

- ・グループ発表時間を15分/1回とする。
- ・シミュレーションの事例は当センターが提案する。

令和 2 年度 腰痛予防指導者育成研修日程表（フォローアップ研修）

	フォローアップ研修	富山地区	新川地区	高岡地区	砺波地区	開催時間は準備を含め 2 時間
1		8/27 (木)	9/3 (木)	8/31 (月)	9/7 (月)	14:00~19:30
2		9/24 (木)	10/1 (木)	9/28 (月)	10/5 (月)	14:00~19:30

研修目的・内容

- ・ 事例に基づき、対応方法を検討し、指導内容を考案し、シミュレーションする。
- ・ 研修参加者に指導する。

1 回目	<p>研修生が基礎研修での学びを活用して、フォローアップ研修参加者(引率した職員)に説明・シミュレーションを行い指導する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 腰痛を起こさないために、従来の持ち上げによる介助方法から新たな移動・移乗方法に変更することの意義・必要性について 福祉用具（スライディングシート・スライディングボード）の有用性について <ul style="list-style-type: none"> ○ベッドからの立ち上がりの場合 ○上方へ移動する場合 ○起き上がりの場合 ○移乗（ベッド～車いす）の場合 事例に基づき利用者の状況・環境を踏まえアセスメントし、1) 2) の内容をシミュレーションする。
2 回目	<p>福祉用具、リフト・吊り具の種類と使用方法等についてフォローアップ研修参加者に指導する。</p> <ol style="list-style-type: none"> リフトの適応等について <ul style="list-style-type: none"> ・ 床走行式リフト、門型リフト、スタンディングリフト等の特徴を説明 ・ 吊り具の種類と選択について説明 吊り具ローバック型脚分離を使用した場合、ハイバック型脚分離又はシートタイプを使用した場合について、介助方法を説明し、シミュレーションする。 安全なリフト操作時のポイントについて説明およびシミュレーション <ul style="list-style-type: none"> ・ 臥位、座位が不安定な対象者の場合 事例を基に利用者をアセスメントし移乗について検討する。